

2. 都道府県健康・栄養調査に必要な調査地区数

調査地区数は原則50単位区以上。

- 調査項目の各都道府県間比較あるいは各都道府県内の経年比較等を考慮した場合、調査結果の誤差率は10%以下が望ましい。誤差率15%以上の場合、データの信頼性を保つことが困難である。
- 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)有病率については、30単位区で誤差率15%、50単位区で誤差率12%、70単位区で誤差率10%となる。(別紙1参照)

※国民健康・栄養調査に準じ、層化無作為抽出(クラスター抽出)を行った場合。男女30-74歳。

※協力・参考：横山徹爾「標本抽出方法及びデータ解析手法の検討」

(厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「国民健康・栄養調査における各種指標の設定及び精度に関する研究」主任研究者 吉池信男)

指標別の誤差率と必要単位区数

指標	仮定した保有率	性別	80%の確率で目標誤差率を達成するために必要な単位区数		50%の確率で目標誤差率を達成するために必要な単位区数	
			誤差率10%	誤差率5%	誤差率10%	誤差率5%
脂肪エネルギー比率	連続変数	男女計	<5	8	<5	<5
	"	男	<5	10	<5	<5
	"	女	<5	8	<5	<5
野菜摂取量	"	男女	7	20	<5	16
	"	男	7	25	<5	18
	"	女	8	30	<5	20
日常生活における歩数	"	男女	<5	16	<5	10
	"	男	8	25	<5	20
	"	女	<5	18	<5	12
運動習慣のある者(成人)	30%	男女	35	>100	30	>100
	32%	男	70	>100	70	>100
	29%	女	45	>100	40	>100
喫煙率	25%	男女	40	>100	30	>100
	44%	男	35	>100	25	95
	11%	女	>100	>100	>100	>100
睡眠による休養が不足している者	26%	男女	30	90	20	80
	27%	男	40	>100	30	>100
	25%	女	40	>100	35	>100
大量飲酒者	-	男女	-	-	-	-
	8%	男	>100	>100	>100	>100
	-	女	-	-	-	-
肥満者の率(成人の内臓脂肪型肥満)	28%	男女	30	95	20	85
	31%	男	35	>100	30	>100
	25%	女	65	>100	65	>100
糖尿病有病者・予備群の率	34%	男女	30	>100	25	90
	32%	男	50	>100	50	>100
	34%	女	40	>100	30	>100
高血圧症有病者・予備群の率	59%	男女	14	45	8	35
	70%	男	14	45	7	35
	52%	女	25	85	20	75
内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)有病率	15%	男女	70	>100	70	>100
	17%	男	>100	>100	100	>100
	13%	女	>100	>100	>100	>100

対象年齢30～74歳

誤差率＝標準誤差÷推定値なので、例えば有病率15%で誤差率10%ならば標準誤差は15%×10%=1.5%である。

